

大学生のレジャー・スポーツに関するアンケート調査

武村 智之 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 金森 雅夫

キーワード：レジャー 娯楽 スポーツ

1. 諸言

成人の人は健康維持・促進のために参加型スポーツイベントに参加する割合が年々上昇傾向にある。その中で、人気となっているレジャー・スポーツはウォーキング、体操、筋力トレーニング、ジョギング・ランニングなどである。このようなレジャー・スポーツをする時間がない成人の人は、通勤の時に自転車で通勤する人が年々上昇してきている。また、運動・スポーツをしている人としていない人には理由がある。運動・スポーツを好きな人は定期的に運動・スポーツを行っているが、運動・スポーツを行っていない人は「嫌い」というキーワードがあるため行わない。運動・スポーツを行うようにするには、スポーツやゲームを楽しむには、最低限の基礎的技術を習得することやスポーツ用具・遊具の活用も「好き」になるための必要条件となってくる。

2. 研究方法

スポーツを専門とする学生とスポーツを専門としない学生の1~4回生を対象に、アンケート調査を行う。各30名にアンケート調査を行う。

3. 結果と考察

スポーツを専門とする学生とスポーツを専門としない学生の行っているレジャー・スポーツを比較した結果、メジャーなスポーツがレジャー・スポーツで行われていることが結果からわかる。

レジャー・スポーツを行う頻度はスポーツを専門とする学生は毎日行っているが、スポーツを専門としない学生は週に1回程度レジャー・スポーツを行う人が多いことが比較しても

わかる。そして、スポーツを専門としない学生でレジャー・スポーツを行っていない学生が数人いた。その学生は、「運動が嫌い」、「どこでやっているかわからないので行っていない」などの理由で、レジャー・スポーツを行っていないことが発覚した。

4. 結論

大学生のレジャー・スポーツに関するアンケート調査を行った結果、スポーツを専門とする学生とスポーツを専門としない学生には大きな違いがあまり見られなかった。しかし、スポーツを専門とする学生はレジャー・スポーツを頻繁に行っているのに対して、スポーツを専門としない学生は週に1回程度しか行っていないことが発覚した。行っているレジャー・スポーツは同じものが多く、メジャーなスポーツが多く行われている。また、今後やりたいレジャー・スポーツも今人気となっている山登りという学生が多くいた。

5. 引用・参考文献

(1) 西田俊夫, 横内靖典

レジャー活動における「するスポーツ」の楽しみ方に関する研究(第2報) - 「好き・嫌い群」によるスポーツ用具・道具の活用について -

西田俊夫, 横内靖典

(2) 原田尚幸 竹下俊一(2002)

ウォーキングイベントの参加決定要因(2002)